

〔書言字考節用集八言辭〕剛毅カウキ剛氣カウキ
〔孝義錄陸十七〕孝行者平左衛門妻

登米郡狼川原本町の百姓平右衛門が妻、姑につかへて孝なり、姑は氣づよき生れにて、短慮なるをいさ、かも其心にそむく事なかりき、

〔書言字考節用集八言辭〕一鐵イテツ今世謂政決強直爲一鐵、蓋濃州士

〔山鹿語類二十一〕剛操

師○山鹿素行嘗曰、大丈夫の世に在る、剛操の志あらざれば、心を存すること不能也、剛はよく剛毅にして、物に不屈を謂也、操は我義とする志を守て、聊不變の心なり、大丈夫此心を存せざれば、我好悪する處にをいて、必屈しやすく、義を守る處たしかならざるなり、故に剛操を以て信を立、義を堅くするの行とする也、清廉正直も、剛操を以てせざれば不立、況や士たるの道、常に剛毅を以て質とし、其守る所を以て行とす、人誰か生死利害好悪あらざらんや、内に剛操を以て究理するがゆへに、死の至て可惡、猶安じて就死、害の至て可避、猶安んじて害をうく、財寶酒色の必可好、猶安んじて是をさくるに至るは、剛毅節操の高く守るに不有ば、誰か此行をなさんや、

〔辨名上〕勇武剛強毅五則

剛柔之反、與強勇殊義、辟如木與金、木柔而金剛、至於水則至柔、而物莫能與之爭、是強也、非剛也、剛強之分、可以見已、朱子曰、勇者剛之發、剛者勇之體、孔子既以剛勇爲六言之二、其爲二德者審矣、可謂妄已、蓋其爲人果敢烈烈、不可干之、是剛也、如子房之勇、豈然乎、是可以知剛勇之辨也、如易剛柔以語卦爻之德、而易之道、尙玩其象、玩象以求之、所包甚廣、故其所謂剛柔、不與它書同、宋儒混一之、故有是失已、學者察諸、
毅亦剛之類、以其力有所堪言之、